

# 日本NIE学会会報

第43号

[発行所] 日本NIE学会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1 横浜国立大学教育学部 重松克也研究室内

TEL/FAX 045-339-3433 E-mail jssnie2005@gmail.com

## 日本NIE学会第16回鳴門大会のご案内（二次案内） 大会テーマ：「新たな時代」に対応したNIE —教室と社会がつながる学びを—

日本NIE学会会長 阪根 健二  
第16回鳴門大会会実行委員長 大石 雅章  
(鳴門教育大学 理事)

新たな元号（令和）の年である2019年、そして2020年東京五輪を控え、これからの「新たなNIEの在り方」を、学会員の皆様と考えていく学会（大会）として、徳島県鳴門の地で開催いたします。前回の鳴門大会は、東日本大震災の年の2011年であり、8年ぶりの開催となります。本大会では、“多様性”と“交流”、そして“国際化”というキーワードを掲げて、NIEのこれからを考えるため、「教室と社会がつながる学び」とはどうあるべきか、NIEを通じた様々な知見や実践を紹介・提言してまいります。

なお、開催にあたり、本学主催の記念講演会、並行開催の和文化教育学会のアトラクション（高校生による阿波人形浄瑠璃実演）、本学図書館の“大村はま文庫及びNIE企画展示”の一般公開などの特別企画をご用意しております。例年より早い時期の開催ですが、是非、秋の土日を鳴門でお過ごしください。

### 大会要項

主催 日本NIE学会

後援 (社)徳島新聞社、徳島県NIE推進協議会、香川県NIE推進協議会

協力 : 鳴門教育大学地域連携センター、和文化教育学会鳴門大会

1 期 日 令和元(2019)年10月19日(土)～20日(日)

2 会 場 国立大学法人 鳴門教育大学 講義棟

(〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地)

3 大会参加費(2日間) 会員2,500円、会員外3,000円、学生・院生・研究生1,000円

(当日、受付で納入します。なお、同時開催の行事は一般公開：無料)

情報交換会(昼食会)参加費 1,000円(弁当代)

4 テーマ 「新たな時代」に対応したNIE —教室と社会がつながる学びを—

5 日程

第1日目 令和元年10月19日(土) 講義棟1階

10:00 11:30 12:50 14:00 15:20 16:00 17:30

受付開始 及び準備	理事会 (B102)	記念講演会		記念鼎談		研究会	研究分科会
和文化教育学会 アトラクション (講堂：無料) 阿波人形浄瑠璃実演 徳島県立城北高校 10:15～10:45	移動・ 昼食	「教育はどう変わるのか -OECD 「Education2030」 が与えた流れ-」 (B101)	開会 行事	「教室と社会 がつながる学 びを」 (B101)	総 会	移動・ 休憩	①企画委員会分科会 (B105) ②研究委員会分科会 (B104) ③機関誌発行委員会分科会 (B103) *展示・控え室・本部 (エントランス、B102)

\*初日の昼食のため、受付でパンの販売をいたします。

第2日目 令和元年10月20日(日) 講義棟2階

8:30 9:30 12:00 12:15 12:30 14:00 (図書館は15時まで)

受付	自由研究発表 (B203,B205,B207,B208)	移動	閉会行事 全体会 (B207)	情報交換会(昼食会) (B207) *大村はま文庫特別公開 (附属図書館：無料)
展示				

\*情報交換会は昼食会として、弁当を販売いたします。初日(あるいは事前)に受け付けます。

\*図書館(大村はま文庫公開、NIE企画展示)は、大会期間中いつでも閲覧できます。

6 概要

(1) 鳴門教育大学主催 記念講演会 (19日土曜日 12:50～14:00 B101教室)

「変わりつつある日本の教育—国際的な視点から—」

【講師】(独) 大学入試センター 試験・研究統括補佐官(兼) 審議役 白井 俊氏

**略歴** 東京大学法学部卒、コロンビア大学法科大学院修士課程修了。平成12年文部省入省。平成19年生涯学習政策局政策課専門調査官、平成21年徳島県教育委員会(学校政策課長、教職員課長、教育総務課長)、平成24年高等教育局大学振興課課長補佐、平成27年経済協力開発機構(OECD)教育スキル局アナリスト、平成29年文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長、平成31年より現職。

講演では、OECDの「Education 2030」の取組やその背景、コンピテンシー重視の国際的トレンドなど、最新のカリキュラム改革の動向についてお話しいたします。特に、学習の枠組みを「知識」「スキル」「態度・価値」の3つの領域で考えており、NIE実践につながるものです。

(2) 学会主催 記念鼎談 (19日土曜日 14:20～15:20 B101教室)

「教室と社会がつながる学びを」

【登壇者】 野口幸司(徳島新聞NIEコーディネーター:元徳島県小学校校長)

岡本光雄(一般社団法人徳島新聞社 理事編集局長)

阪根健二(日本NIE学会会長)

徳島県でのNIE実践を通して、教室と社会をつなげる学びの在り方を、大学、新聞業界、教育現場の3者による鼎談を行います。

### (3) 研究分科会 (19日土曜日 16:00～17:30 B103、B104、B105 教室)

#### ① 企画委員会分科会 (B105 教室)

「デジタル時代の知性とは <sup>インテリジェンス</sup> —すべての子どもたちがデジタル世界で豊かに生きるためのNIE授業実践・学習研究のヒント—」

【登壇者】 土屋武志 (愛知教育大学)、二田貴広 (奈良女子大学附属中高等学校)  
伊東広路 (読売新聞社)

小・中・高校生がどのようなメディアからどのような情報を得ているか、調査報告や実践報告を元に意見交換を行います。特に、デジタル時代における知性(インテリジェンス)とはなにかを議論し、すべての子どもたちがデジタル世界で豊かに生きるためのNIE授業実践・学習研究のヒントを提案します。

#### ② 研究委員会分科会 (B104 教室)

シンポジウム「NIE実践と研究のブレイクスルー」

【発表者】 中 善則 (花園大学)、伊吹侑希子 (京都学園中学高等学校)  
富士健一 (福井県教育庁嶺南教育事務所)

【指定討論者】 柳澤伸司 (立命館大学)

【コーディネーター】 角田将士 (立命館大学)

NIEにおける実践・研究のより一層の興隆のためには、これまでのように属人的に個別の実践を積み重ねていくだけではなく、実践者も含めて、より普遍的な視点から意義あるNIE実践とはどのようなものかを研究として問うていくこと、つまり、NIEの実践と研究のさらなる展開(ブレイクスルー)が求められると考えます。そのためには、①実践者と研究者とが連携して、個々の実践を教育的効果はもちろんのこと、高い研究的価値を有した実践へと高めていくこと、②実践者が自らの実践に内包される普遍的な価値を意識しながら、研究発表・論文として自らの実践を一般化していくこと、③実践能力に加え、①・②を可能とする研究的連携力、研究的視野をも有したNIE実践・研究の担い手を育成していくこと、などが課題となるでしょう。本分科会においては、これまでの研究委員会での取り組みをケーススタディとしながら、これらの課題に迫っていきたいと考えています。

#### ③ 機関誌発行委員会分科会 (B103 教室)

「NIE研究・論文作成について —論文の書き方や投稿について—」

【助言者】 小田泰司 (福岡教育大学)、鴛原 進 (愛媛大学)  
橋本祥夫 (京都文教大学)、朝倉 淳 (安田女子大学)

学会誌に投稿したいが、その形式などが分からない、自分の研究について、論文としてどうまとめればいいのかを指導・助言する分科会です。ここでは、NIE実践(現場実践など)を切り口にして、実践論文・研究論文の書き方などを助言します。なお、個別の助言も可能ですので、学会員のみならず、学生や院生も、この機会にご参加ください。

(3) 自由研究発表 (20日曜日 9:30～12:00 講義棟2階 4会場)

ア、発表方法：口頭発表、パソコンでのプレゼン可 (RGB,HDMI)

イ、発表時間：発表時間 20 分以内、質疑応答 10 分以内 (準備も含めて、30 分で実施)

**第一分科会 (B208) 座長 土屋武志 (愛知教育大学)**

- ① 中 善則 (花園大学)・伊東 広路 (読売新聞大阪本社)・徳永 加代 (帝塚山大学)、今宮 信吾 (桃山学院教育大学)・西村 まさみ (京丹後市学校図書支援ボランティア)・角野 綾子 (JAE)  
「シティズンシップの育成をめざした「子ども新聞」づくり - 専門家 (NIE学会員) と小学校の協働を模索して -」
- ② 光武 正夫 (佐賀県唐津市立肥前中学校)「社会に開かれた道徳科授業の開発 - 新聞広告「最後だとわかっていたら」を主教材として -」
- ③ 二田 貴広 (奈良女子大学附属中等教育学校)「新学習指導要領での表現力を育成する中学校国語科のNIE単元 - 新聞のコラムの論理構造を活かして表現力を高める -」
- ④ 前野 勝彦 (香川県高松市立香東中学校)「中学校における、NIEを活用した効果的な学年経営」
- ⑤ 行田 臣 (愛知県豊橋市立幸小学校)「戦後初期社会科に学ぶNIE実践への示唆 - 単元「新聞とラジオ」の分析を通して -」

**第二分科会 (B207) 座長 小田泰司 (福岡教育大学)**

- ① 橋本 祥夫 (京都文教大学)「記者体験活動を通して、子どもたちのシティズンシップを育成する研究 - 「京都子ども記者クラブ」の取組を通して -」
- ② 畝岡 睦実 (岡山県立岡山南高等学校)「新学習指導要領における「批判的・論理的思考力」の育成を目指した授業開発 - 「問い」を立て、社説をクリティカルに読む学習の試み -」
- ③ 久光 原 (北海道恵庭南高等学校)「NIEにおける新聞コラムと映像をリンクさせた実践 - 定時制高校生徒の心の琴線に触れる授業を目指して -」
- ④ 古家 正暢 (帝京大学)「新聞を活用して「学ぶに向かう力」を培う実践 - 私塾における親子でつくる新聞切り抜き作品づくり -」
- ⑤ 白戸 一範 (東京都NIE推進協議会)・吉成 勝好 (新聞教育推進協議会)「「学ぶに向かう力」と新聞活用 - 子供は何を感じているのか -」

**第三分科会 (B205) 座長 角田将士 (立命館大学)**

- ① 木村 千夏 (大阪大学大学院人間科学研究科 / 徳島大学人と地域共創センター)「学生の分かりやすさを重視した VALUE Rubrics 日本語訳の作成」
- ② 松井 圭三 (中国短期大学)「「NIE家庭支援論演習」の授業実践 - 保育学科学生のアンケートの結果から -」
- ③ 國弘 保明 (川崎医療福祉大学)「国家試験を意識したNIEを行うために - 栄養系学科を例として -」
- ④ 佐藤 久恵・所澤 潤・神部 秀一 (東京未来大学)「東京未来大学の授業における外国紙と国内紙の比較による「切り抜き新聞」の実践」
- ⑤ 小原 友行 (福山大学)「新たな価値の創造を目指した大学におけるNIE授業の開発 - 単元「瀬戸内創生をデザインする」の実践化 -」

**第四分科会 (B203) 座長 柳澤伸司 (立命館大学)**

- ① 磯崎 真澄（岩手日報社）「岩手県におけるNIEの現状と効果に関する考察 - 県内全校対象アンケート調査結果の分析から -」
- ② 山西 敏博（公立長野大学 / 大阪大学大学院博士後期課程）「川崎殺傷事件からみる「心の教育」考 - CLIL（内容言語統合型学習）の実践を通して -」
- ③ 畑 光一（信濃毎日新聞社）「学校教育を支援する信濃毎日新聞社のNIE活動」
- ④ 加藤 隆芳（筑波大学）「脳性まひ児の説明的文章の理解に係る力を育成するための新聞記事を活用した指導法の検討」
- ⑤ 坂本 旬（法政大学）「「フェイクニュース」時代における情報評価能力の育成 - 欧米の研究状況から日本の実践まで -」

#### (4) その他の行事

- ① **和文化教育学会アトラクション（19日土曜日 10:15～10:45 講堂：無料）**

**阿波人形浄瑠璃 実演（徳島県立城北高校民芸部）**

自由に観覧できます。徳島県が誇る和文化であり、この機会にぜひご覧ください。

- ② **大村はま文庫特別公開及びNIE企画展示**

**（鳴門教育大学附属図書館：無料：会期中いつでも：20日15時まで）**

鳴門教育大学附属図書館長を務め、大村はま文庫の創設に尽力された橋本暢夫氏（前回大会で講演）は、大村の実践を「NIEの先駆者」として高く評価しています。新聞を活用した実践もあり、貴重な文献や学習の記録などが収蔵されておりますので、この機会にぜひご覧ください。

- ③ **閉会行事、情報交換会（20日日曜日 12:15～14:00 講義棟 B207）**

今回は、初日夜に開催していた情報交換会を実施いたしません。その代替として、2日の昼食会（情報交換会）を実施します。初日の受付で集金いたしますが、参加申し込み時点で希望を伺います。

また、閉会行事を行い、学会のまとめを行うと共に、次期大会について、事前案内をいたします。

#### (5) 参加申し込みについて

- ① **参加申込方法**

「参加申込書」（ワード文書）に必要事項をご入力の上、E-mailで添付ファイルとして、以下の送信先（大会事務局）まで送信ください。添付ファイル名は、「参加申込\_氏名」としてください。「参加申込」と「ご氏名」の間のアンダースコア("\_", 半角で入力)は、"Shift"キーを押した状態で"Shift"キー左横の「ろ」を押してください。

例えば、ご氏名が「鳴門太郎」の場合、ファイル名は、参加申込\_鳴門太郎.docです。なお、E-mailでの送信が難しい場合には、「参加申込書」をFAXまたは郵送にて、以下の送付先（大会事務局）までお送りください。大会事務局より、受付確認のご連絡（E-mail・電話等）をいたします。

**参加申込の締切 2019年9月30日(月)まで**

**\*当日受付可能ですが、準備の都合上、できる限り事前にお申し込みください。**

- ② **「参加申込書」の送信（送付）先**

<p>日本NIE学会第16回鳴門大会事務局 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748          鳴門教育大学 阪根研究室（担当 阪根、北島）          FAX：088 - 687 - 6593、 E-mail：sakane@naruto-u.ac.jp</p>
---

7 アクセスなど（時刻変更などがありますので、詳細は各社の時刻表で確認ください。）

(1) 航空機の場合（徳島あわおどり空港：一部掲載：10月就航分）

東京（羽田）→徳島		徳島 → 東京（羽田）	
JAL453	07:00 → 08:15	ANA284	15:20 → 16:40
ANA281	08:55 → 10:10	JAL460	15:30 → 16:40
JAL455	09:45 → 11:00	JAL462	17:30 → 18:45
JAL457	11:45 → 13:00	ANA286	18:50 → 20:10
	（以下 略）	JAL464	20:35 → 21:45

福岡 → 徳島		徳島 → 福岡	
JAL3563	10:00 → 11:00	JAL3564	11:30 → 12:45
JAL3567	18:15 → 19:15	JAL3568	19:50 → 21:00

\* タクシーで大学まで、3500円程度（25分程度）

空港から路線バス

（往路：鳴門公園行で、小鳴門橋で乗り換え 鳴門教育大学前）

空港 → 鳴門教育大学前		鳴門教育大学前 → 空港	
8:36	→ 9:14	13:00	→ 14:25
10:11	→ 10:48	15:13	→ 16:20
11:41	→ 12:43	17:43	→ 18:20
13:41	→ 14:27		

※「鳴門教育大学前」路線バス時刻（2019年1月現在：土日時刻）

鳴門教育大着 8:13、9:14、10:48、12:43、14:27、15:53、17:17、18:17、21:13

鳴門教育大発 7:19、8:53、10:18、11:13、13:00、15:13、16:18、17:43

\* 「小鳴門橋」で乗り換えて、高速バス「高速鳴門」に接続出来ます。

\* 空港便も、「小鳴門橋」で乗り換えます。

\* 小鳴門橋バス停には、待合所などがあります。

徳島市内からのバス利用（徳島バス）の推奨便（徳島市内、鳴門市内宿泊など）運賃 630円

行 徳島駅発 7:30 → 鳴門駅発 8:03 → 小鳴門橋発 8:08 → 鳴門教育大学着 8:13

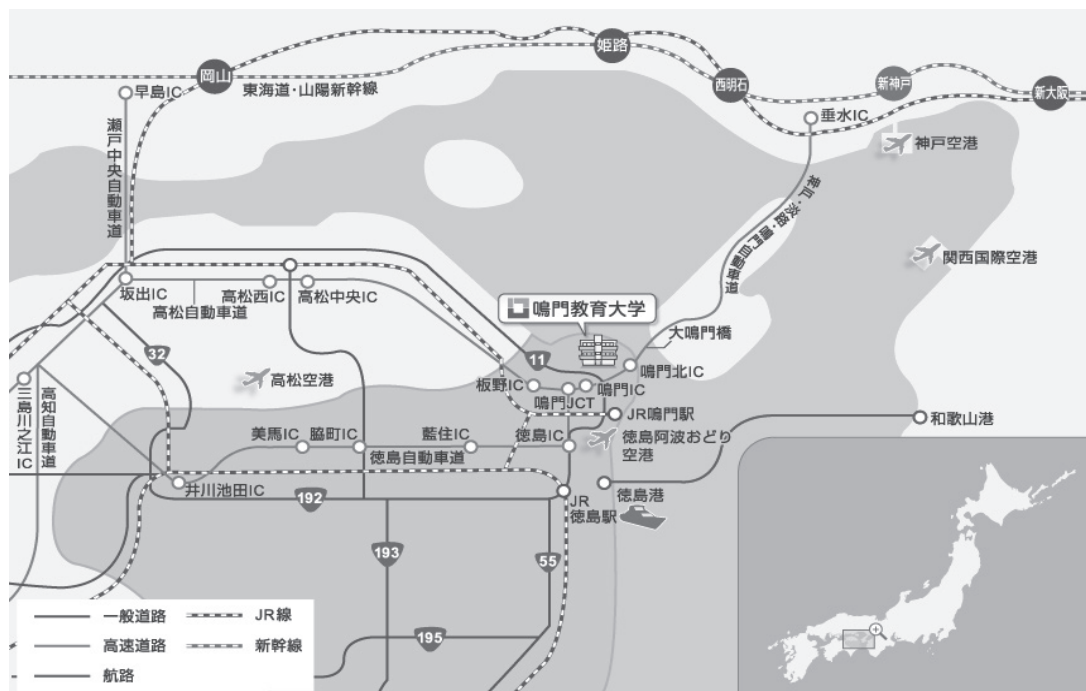
徳島駅発 8:30 → 鳴門駅発 9:03 → 小鳴門橋発 9:09 → 鳴門教育大学着 9:14

帰 鳴門教育大学発 15:13 → 小鳴門橋発 15:20 → 鳴門駅発 15:23 → 徳島駅着 16:03

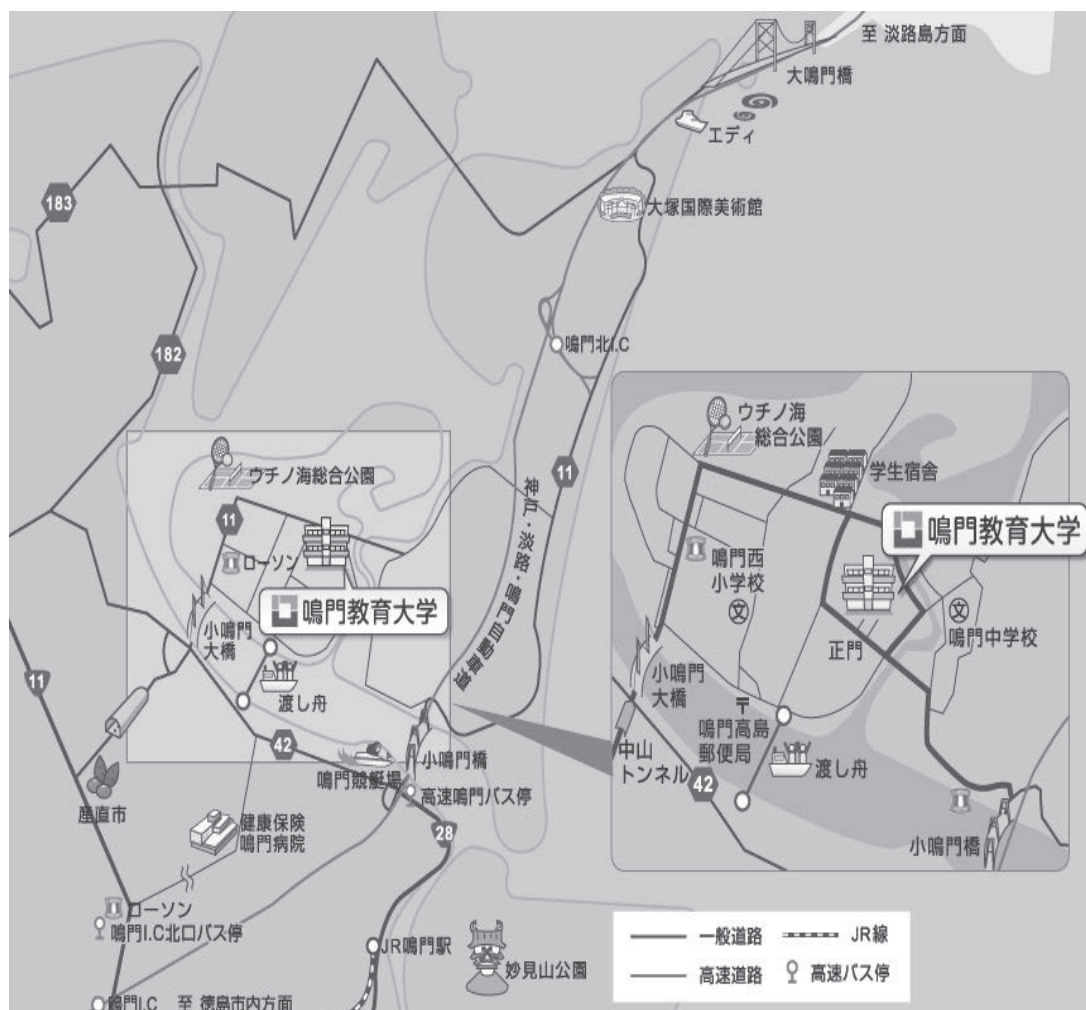
鳴門教育大学発 17:43 → 小鳴門橋発 17:50 → 鳴門駅発 17:53 → 徳島駅着 18:33

## アクセスマップ

(高速バス「高速鳴門バス停」は、神戸空港、新神戸、大阪、京都、東京などと接続しています。)



\* JR 鳴門駅からは、徳島行の普通列車が出ています。(岡山・高松からは、池谷で乗り換え)



\* 大学周辺に、鳴門市内における「官営渡船」があります。(無料ですが、やや歩きます。)

## キャンパスマップ



\* 自家用車でおいでの方は、学内に駐車場があります。(自由に入れます。)

\* 自家用車は、高速道路・鳴門ICから10分程度(ICから小鳴門大橋を経由されると便利です)

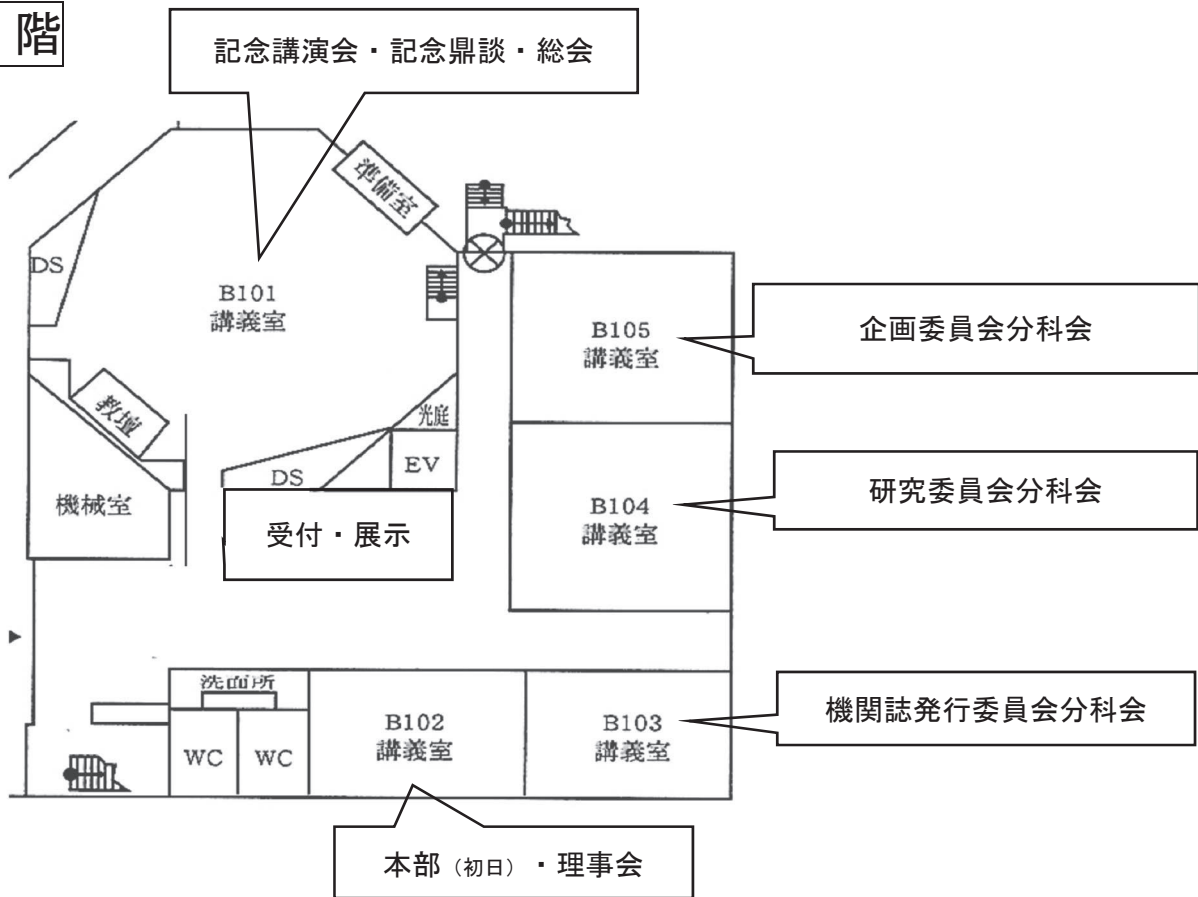
\* 周辺に食事場所はありません。飲み物の自販機はあります。コンビニは周辺に2か所あり、自家用車なら3分程度の距離ですが、徒歩ではやや遠いです。大会館は、土日は空いていません。

\* 本学では「受動喫煙の防止」のため、敷地内禁煙です。正門などの大学周辺での喫煙をご遠慮いただくため、屋外の定められた場所に臨時喫煙所を設けておりますが、灰皿等の設置はありません。

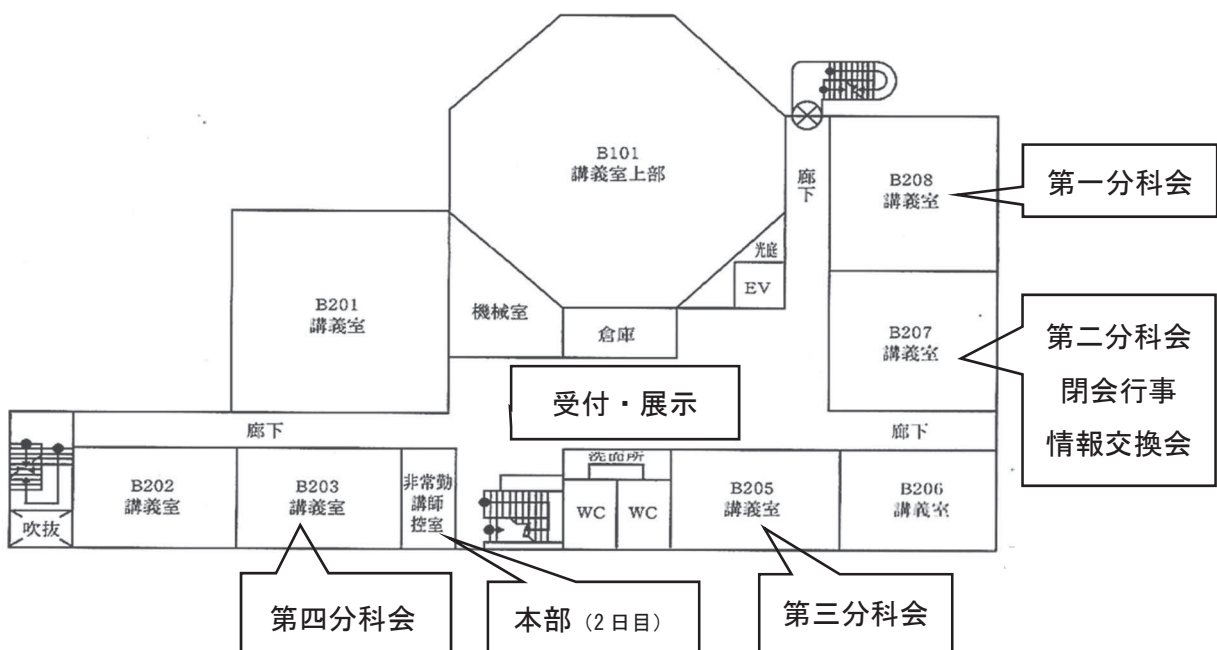


会場案内図（講義棟）

1階



2階



## 日本NIE学会第16回鳴門大会 参加申込書

ふりがな 氏名			
所属			
連絡先住所 <都道府県名より ご記入ください>	〒	都・道・府・県	
TEL		FAX	
E-mail			
種別*1	学会員 ・ 学会員外 ・ 学生・院生。研究生		
参加希望 (人数把握のため)	<p>参加希望の研究分科会に○をつけてください。(予定も含めて)</p> <p>① 人形浄瑠璃                      参加する ・ 参加しない</p> <p>② 記念講演                          参加する ・ 参加しない</p> <p>③ 鼎談                                参加する ・ 参加しない</p> <p>③ 情報交換会(昼食会)              参加する ・ 参加しない</p> <p>④ 大村はま文庫見学                参加する ・ 参加しない</p> <p>⑤ 駐車場                              使う ・ 使わない</p>		
分科会等	<p>参加希望の研究分科会に○をつけてください。</p> <p>① 企画委員会分科会                (        )</p> <p>② 研究委員会分科会                (        )</p> <p>③ 機関誌発行委員会                (        )</p>		
参加費 (当日、 受付で納入)	<p>大会参加費(2日間) 会員 2,500円、会員外 3,000円、学生・院生・研究生 1,000円</p> <p>参加費 (                              ) 円</p> <p>情報交換会(昼食会) 参加費 1,000円(弁当代)</p> <p>弁当代金 (                              ) 円</p>		

申し込み先 鳴門教育大学 阪根研究室(担当 阪根、北島) E-mail : [sakane@naruto-u.ac.jp](mailto:sakane@naruto-u.ac.jp)  
(あるいは、FAX : 088-687-6593) 2019年9月30日(月) 必着

## 当日受付票 (これを受付に出されますとスムーズに対応できます。)

1 所属

2 お名前

3 参加費 (いずれかに○) . . . 受付で、領収書をお渡しします。

学会員 2500 円、 一般 3000 円、 学生・研究生 1000 円

4 2 日目のお弁当 (1000 円)      必要 ・ 不要

5 宿泊を伴う場合の宿泊先名 (任意)

10 月 18 日 (金)

10 月 19 日 (土)

\* 宿泊は各自でご予約ください。(鳴門市内及び徳島市内)

なお、参加申し込み書及び受付票は、大会ホームページからダウンロードできます。



<http://sakane.g2.xrea.com/mysite1/policy.html>

台風等の自然災害などでの、大会開催の可否など、随時更新しておりますので、ここを参照ください。

受付や参加費などの詳細も、このWebで確認できます。

